

全國官業団体之互團結之ため、復達下此官僚軍閥の態度ヲ徹底的ニ排斥スルを第一大旗運動ヲ起スノ要アリ是レ吾々が第一其第一歩トシテ茲ニ官業労働者本会ヲ開催シタル所以ナリ

七、決議文聲明書ノ件
併紙ニ如キ聲明書ヲ復巻ス

米漢會ニ提案サレシトスル労働組合法中ヨリ官業労働者ヲ除外セントスル事、國家ノ美名ニカクレテ國民ノ基本の權利ニ大制限ヲ加ヘ嚴禁スル官業労働者、茲団体大旗運動ニ於テ官僚軍閥ノ陰謀ヲリト協メ断平トシテ受レテ反對ス

昭和五年四月十九日

労働組合法官業除外反對在任官業労働者大會

官業労働者大會
労働組合法官業除外反對在任官業労働者大會

政府が設立スル官業除外の拘り公選法及び現在ヲ通ジテ農林省を除く以外、官業官廳ニハ皆々労働組合法嚴存シ殊ニ陸海軍及製鐵所等ハ位業ノ莫ク大部又ハ全部カ既ニ労働組合法ニ適用シテ官業労働者ノ出来又事實デアアル然レモ労働組合法制定ニ當リ官業労働者ガ團結シテ労働條件ノ維持改善ヲ主張スルコトハ國家ヲ相手ニ抗争スルモノニシテ不適當ナリナリ理由如下ニ同法ヨリ官業労働者ヲ除外セントスルハ官吏即口家ナリト云フのみハ國家觀念ナ